

町政を問う

回答  
ANSWER

質問  
QUESTION

### 小中学校における夏休みの短縮は？

### 授業時間数が確保されているので、当面は短縮しません

〔教育長〕



おおひらふみお  
大平文雄

質問

新たな学習指導要領では約40年ぶりに授業時間数や内容が増えました。最低限必要とされる「授業時間数」は小学校6年間で従来より278時間増加し、中学校3年間では105時間増加しています。

授業時間数の増加にもかかわらず、週休二日、夏休みも従前とお

りの体制では、習熟が不十分な生徒に対して手を差し伸べる機会が失われていくことが懸念されます。

そこで夏休みの短縮が全国的に広がりを見せています。

一方では保護者の方々からは、せめて夏休みぐらいは親子でのコミュニケーションの時間ととらえ、現状を肯定される方々もおられると思います。

このような状況を踏まえ夏休みの短縮は賛否両論がありますが、

文部科学省の方針の「脱ゆとり教育」のなかで土曜日授業や夏休みの短縮を検討する必要があると思います。

そこで授業時間数の増加に対してどのような対応すべきか教育長の考えをお伺いします。

回答

授業時間の確保のために夏休み

を短縮しているところは西濃地区では1校もありませんし、県内小中学校でもないようです。

すでに町内の各学校におきましては、学習指導要領改訂による授業時間数の増加分について、週あたり1〜2時間の授業のコマ数を増やしたり、終業式等に教科授業を実施したりして、以前の日課表を変更することで確実に授業時間を確保しているところではあります。

したがって、本町においては授業時間が確保されている状況ですので、夏休みを短縮せず、児童生徒には「長い夏休みだからこそできること！」に大いに取り組んで欲しいと願っています。

夏休みは、学校では得られない多くの学びや、思い出をつくる大

切な場であります。また子どもの学力定着・向上には「学習の量」だけではなく「学習の質」をより深く追及することが重要という認識を持って、今後も教育を推進していきます。さらなる余裕を生むことになりす。今後、「土曜授業」については、27年度は、学校、「土曜授業」の実施については、真に必要な授業内容の創出が可能かどうかを試験的に実施する中で検討を重ねていきたいと考えています。



小学校での授業の様子 (名森小学校)